



各棟の外観は、統一感を持たせるため、やさしいイメージの曲面屋根、落ち着いた暖かみのある外壁タイルを共通に用い、部分的にさわやかな印象のガラスのカーテンウォールを用いてデザインされています。

内部は、機能性を考慮した平面設計を心掛けるとともに、各所に車イス対応のエレベーター、便所を設けるなどの配慮を行い、石川らしさを演出するため、雪の日も快適な動線空間を確保し（ガラスホール）、県の木であるアテ材を用いた天井やコーナーガード、珪藻土の壁などを採用しています。

環境負荷低減においては、深夜電力を活用した氷蓄熱冷房、雨水を活用し便器類の洗浄水に利用するなど、エネルギー資源の有効活用を図っています。

DATA

河北郡高松町字中沼地内
平成11年7月、10月完成

(管理棟) RC造：3F	1,693㎡
(図書館) RC造：2F	1,881㎡
(体育館) RC造：1F	1,078㎡
(厚生棟) RC造：2F	1,347㎡
(講堂) RC造：2F	906㎡
(教育研究棟その1) SRC造：4F	5,077㎡
(教育研究棟その2) RC造：4F	3,702㎡
延	15,684㎡



教育研究棟



管理棟、図書館、講堂



実習室



ブラウシングコーナー



講堂

culture

education

industry

administration

welfare

housing